

「蹴脂茶」に係る食品健康影響評価について

1 経緯

「蹴脂茶」については、平成 21 年 10 月 6 日付けで、エノキタケ抽出物（エノキタケ由来の遊離脂肪酸混合物として）を関与成分とする特定保健用食品の表示許可申請がなされたものである。

今般、消費者委員会新開発食品調査部会新開発食品評価調査会での審議が終了したことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 3 項及び健康増進法に規定する特別用途表示の許可等に関する内閣府令（平成 21 年内閣府令第 57 号）第 4 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2 評価依頼製品の概要

(1) 製品

- ① 商 品 名：蹴脂茶
- ② 食 品 の 種 類：清涼飲料水
- ③ 関 与 成 分：エノキタケ抽出物（エノキタケ由来の遊離脂肪酸混合物として）2.4 mg
- ④ 一日摂取目安量：1 本（350 ml）
- ⑤ 特定の保健の用途：体脂肪が気になる方や肥満気味の方に適する。

(2) 関与成分

エノキタケ抽出物は、食用エノキタケ(*Flammulina velutipes*(Curt.:Fr.)Sing.)子実体の熱水抽出物と、抽出残渣をアルカリ処理して得られた成分からなり、関与成分であるエノキタケ由来の遊離脂肪酸混合物のほか、 β -グルカン、植物性キトサン及び複合糖質などが含まれている。エノキタケ由来の遊離脂肪酸としては、リノール酸、 α -リノレン酸、ペンタデカン酸、パルミチン酸等が存在している。

(3) 作用機序

*in vitro*における試験及び動物を用いた試験により、エノキタケ由来の遊離脂肪酸混合物は、 β アドレナリン受容体に対しアゴニストとして作用し、脂肪細胞中の脂肪滴の肥大化を抑制することが示唆された。

(4) 有効性

BMI 25 以上の被験者 86 名を対象に、無作為化プラセボ対照二重盲検法による並行群間比較試験を実施した結果、体重、BMI、ウエスト周囲径、全体脂肪面積及び内臓脂肪面積の摂取前後の変化量で、プラセボ飲料群と試験飲料群の群間で有意差が認められた。

3 今後の予定

食品安全委員会の食品健康影響評価結果を受けた後に、消費者委員会新開発食品調査部会において審議する予定である。